令和7年度 学力向上のための重点プラン【小学校】

新宿区立四谷第六小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和7<mark>年5月9日</mark>】

授業作り 環境作り 重点

学習規律を校内で統一し、タブレット端末を効果的に活用した授業を展開する。

学習に向かいやすい教室環境を整え、個に応じた学習指導をする。

■ 学年の取組について

学	学習状況の分析	学校が取り組む目標	目標達成のための取組
年	(各種調査から)	(日常の授業の様子から)	
		・ひらがな、カタカナ、漢字を確実に身に付け、	・文字の学習はデジタルドリルやプリ
1		正しく丁寧に書けるようにする。	ントを活用して反復練習をし、定着
学		・話すこと、聞くことの力を付け、自分の知らせ	を図る。
年		たいことをすすんで話したり、相手の話を最	・ペアで話をする時間を積極的に取り
		後まで聞いたりすることができるようにす	入れる。話を聞く姿勢等、基本的な
		ప .	話の聞き方の指導を重視する。
		・10までの加減の計算方法を確実に身に付け、	・デジタルドリルやプリント、計算カ
		正確に計算する。計算の仕方を図やブロック	ード等を活用し、計算練習を繰り返
		を使って表せるようにする。	し行い、定着を図る。
			・ブロックや図、言葉を用いて自分の
			考えを表す場面を設定し、それを使
			って発表するようにしていく。
		・平仮名(拗音などを含む)、カタカナ、漢字を	・デジタルドリル等を活用し、反復練
2		確実に身に付け、正しく丁寧に書けるように	習をさせる。
学		する。	・暗唱テストを行い、確実にかけ算九
年		・加法、減法の計算の習熟を図り、正確に計算で	九を唱えられるようにする。
		きるようにする。また、かけ算九九は、暗唱で	・文章を書く前に、文章の構成を考え
		きるようにする。	させる。構成を考えることを反復練
		・自分の考えを話したり、書いたりして人に自分	習し相手に伝わりやすい文章を書け
		の思いを伝えられるようにする。	るよう定着を図る。
	・新宿区学力定着度調査は、国語、算数	・漢字を正しい筆順で丁寧に書くことができる	・デジタルドリルを活用して漢字の練
3	ともに、区の平均を上回っている。特に	ようにする。	習を行い、小テストなどの反復学習
学	国語の「応用」分野は区の平均を大きく		を行う。
年	上回っている。	・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝え	・質問の種類などの型を示す。また、ペ
	・国語、算数ともに、どの観点や領域で	たいことや自分が聞きたいことの中心を捉	ア学習やグループ学習を積極的に取
	も区の平均を上回っているが、国語の	え、自分の考えをもつことができる。	り入れることで、「話すこと・聞くこ
	「話すこと・聞くこと」の領域は他の領	・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで	と」の活動量を増やしていく。
	域に比べると、正答率が低い。	段落をつくったり、段落相互の関係に注意し	・誰に、何の目的で書くのかを明確に
		たりして、文章の構成を考えることができる。	し、文章を書かせるようにする。ま
			た、友達と読み合う時間を十分に確
			保し、互いにアドバイスをし合う。
		・自らすすんで学習に取り組めるようにする。	・自主学習に取り組み、互いの学習内
			容を共有し合う時間を設ける。

	・新宿区学力定着度調査は、国語・算数	・漢字を正しい筆順で丁寧に書くことができる	・デジタルドリルを活用して漢字のテ
4	ともに、区平均を上回っている。	ようにする。	ストや計算などの反復学習を行う。
学	・国語は、「書くこと」の領域に課題が見	・話のまとまりを意識して、文を書くことができ	・書く目的や相手を明確にして文章を
年	られる。	るようにする。	書き、書いた後は互いに読み合う時
	・国語、算数ともに学習理解における個	・文章の内容を正しく読み取り理解することが	間を確保する。
	人差が大きい。	できるようにする。	・文章の要点を確認し、内容を理解し
		・計算などの基礎学力の定着を図る。	てから課題に取り組む。
			・自主学習に取り組み、互いの学習内
		・自ら進んで学習に取り組めるようにする。	容を共有し合う時間を設ける。
	・新宿区学力定着度調査では、国語・算	・漢字を正しい筆順で丁寧に書くことができる	・デジタルドリルを活用して漢字の練
5	数ともに、教科総合正答率は区の平均	ようにする。	習を行い、小テストなどの反復学習
学	を上回っている。	・既習漢字や句読点を正しく活用することがで	を行う。
年	・国語「話すこと・聞くこと」、「書くこ	きるようにする。	・課題プリントなど書く活動で、既習
	と」、算数「式と計算」の領域の正答率	・計算などの基礎学力の定着を図る。	漢字や句読点の指導を行う。
	が区の平均よりも低く課題である。	・文章の内容を正しく読み取り理解することが	・デジタルドリルを活用した反復学習
	・算数に比べ、国語の学力層の下位分布	できるようにする。	を行い、計算などの基礎学力の定着
	が多い。		を図る。
			・文章の要点を確認し、内容を整理し
			てから課題に取り組む。
	・新宿区学力定着度調査は、国語、算数	・自ら課題を設定し、その課題の解決のために探	・各教科において探究的な学習ができ
6	ともに、区の平均を上回っている。	究的に学習する力を身に付ける。	るような授業計画を立て、実施する。
学	・区の平均を基準とした時、国語では「話	・自らの考えを伝えたり友達の考えを聞いて考	・プリント学習やデジタルドリルを活
年	すこと・聞くこと」、算数では「図形」	えを広げたりすることができる。	用し、これまでに既習した内容も復
	領域の平均正答率の差が、他の領域と	・図形の性質や特徴を正確に捉え、作図したり計	習する等、個に応じた学習を進める。
	比較して小さいため、課題と捉えられ	算で求めたりしたりすることができる。	・ペア、グループ学習を多く設定し、他
	ప .	・漢字や四則計算など、基礎的・基本的な学力を	者と関わることを通して、国語の学
	・国語・算数ともに、学力定着度の個人	全員に身に付ける。	習以外でも自らの考えを伝えたり、
	差が大きい。		深めたりする機会を確保する。
			・算数の学習では、図や数直線などを
			使って立式する練習を積み重ねてい
			く。また、自分なりの言葉で考えを
			説明できるように伝え合う場や時間
			を確保する。
特			
別			
支			
援			